

日本クリスチャン・アシュラム連盟

冬季号

開心  
静聴  
充滿  
献身  
奉献

# 日本アシュラム

United Christian Ashrams of Japan

Winter 1977

## クリスチャンの生涯

—主に在る天国の民として—

山根可式

クリスチャンの生活はこの地上にありながら、主イエスによって生れ、訓育を受け、未来は主の栄光体を着せられるという三段階を踏むものである。最近の静聴によって、これらのことを順次、示されてきたので、要約して述べよう。

### 一、神の国に生れる。

主イエスはガリラヤにおいて伝道の第一声を挙げられ、「時は満ちた。神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と叫ばれた(マルコ一・一五)

この招きに応じて、悔改め、福音を信じた者はクリスチャンと呼ばれるのであるが、この悔改めとは、主がニコデモに語られたように、「水と霊とによって新しく生れる」時、(ヨハネ三章三一五)「神の国に入る事が」できるのである。

つまり洗礼の水により罪を洗い去り、聖霊によってきよめを受けることにより新生の体験を与えられ、神の国に生れるのである。まずこの誕生を経験することが大切なことで、生れていない者は、たとえこの世に生きていても話にならない。

### 二、生れた人は新生涯が始まる

A、「感謝、喜び、賠償」

多くの人は救われた喜びを感謝はする

けれども、過去の罪について神に對し、人に対して賠償をしていない。おわびをすることである。これは言わば乳児期と称すべきものである。

### B、「試練」(第一ペテロ一章七)

次は成長期に入るが、ここでは信仰の試練を経て、金以上に尊い朽ちることのない宝を天に積むことができる。

### C、「戦闘」(マタイ四章一―十一)

学業期とも言うべき時代で、勝利を得るまで、罪と世とサタンとに挑戦して行く必要がある。

### D、「キリストの形が成るまで」

イエスを主として心に迎えた者は、この内在の主の命令に愛をもって従うことによって、日に日に主の御姿に近づいて行き、ついにキリストの形が成る。これを信仰による希望の生涯である。

### E、「再臨待望」

世に勝ち、罪を征服し、肉体までが栄光化する以上、AからDまでの現世の生活を忠実に歩むことにより、信仰と希望と愛とに満ち溢れた人間とされ(E)未来における生活が大いなる確信となり、主との再会を待望することによって現世にあることもまた大いなる喜びとなるのである。

### 三、栄光体を着せられる

これは来世のことであるが、(コリント第二書三章一八)にある通り、主の栄光を仰ぎつつ、ついに主と同じ姿に変えられて行くのである。

さて私たちは以上のように、まず新生したとして、第二段階の何処を進んでいるのかを自己吟味して見る必要があるのではないか。この試練の時を立派に戦いぬくことなくして、第三段階に入らせて頂くことはあり得ないからである。

### 第一回日本アシュラム誓約

讀むべきかな、我らの主イエス・キリスト、御導きの下に我らはスタンレー・ジョーンズ博士を中心として天城山荘のアシュラムに参会し、起居を共にして祈り聖霊の恩化に浴し、深い反省と懺悔の裡に奮起を促され、主によって新たにされた事を感謝する。今や宣教百年記念運動の展開される時、過去の恵を感謝すると共に、日本教化の前途多難なるを認め、我らはこの歴史的機會に全身全霊を捧げ共に福音の証人として起つことを決意し、ここに受けたる霊火を持ち帰り、同信の友を糾合して、救霊の運動に邁進せん事を期し、厳かなる神のみ前に連署して共に再献身の堅き誓約を結ぶ。

願くば主共に在してこの誓約を全うする力を得しめ給わん事を、アーメン。  
昭和三十(一九五五)年二月十日  
天城山荘にて 退修会出席者一同

山根可式著  
「アシュラムの恵」(百円)

連盟は創始者の祈りによって各地に生れた「アシュラム」の参加を期待している。

# 第十一回四国アシュラム報告

——松山に海老沢牧師を迎えて——

四国アシュラム委員長 宇都宮 充

去る十一月二―四日の三日間、四国アシュラムが松山済美会館第一講堂で開催された。助言者として日本クリスチャンアシュラム連盟の理事長海老沢宜道牧師を迎えた。参加者は約三〇名の少数であったが、アシュラムの真義に徹した最も恵まれた集会となり心から感謝した。

第一日は二日午後二時、開会礼拝を宇都宮委員長の司会奨励で守り、次で海老沢牧師により開心の時がもたれた。主に明渡して必要を満して頂くために、各自の求めを告白して祈る。後二組に分れて自己紹介をし、紙片に氏名、住所、生年月日を書き隣席の人と交換、向う一年間その友のニードの満されるよう折り合うこととした。夜の聖書講義(第一回)は桑原重夫牧師によって主に聴き、主に従って聖霊に満された体験からの説き明しがあり、引続いて「海老沢の時」は詩篇五一篇の靈解によって、まず認罪の必要と悔改の徹底を迫られ、初日から深い主の導きを感じた。別室では夜十時から連鎖祈禱が開始された。

第二日(三日)は早朝「静聴の時」を海老沢牧師により導かれ、マタイ福音書五一―六章を通して静聴、全員が御言の分ち合いをして恵まれた。朝食後の聖書講

義(第二回)は戸田義雄師により熱こもるお話を伺い小団祈禱、労作の時と進み午後には宇都宮委員長が九月、十月の台湾伝道報告を興味深く行う。ファミリーアワーではお互に四国アシュラムについての希望意見を述べ合った。朝禱会にも祈って貰うこと、各県に現地実行委員をあげ、また各教会で一日アシュラムを励行する等、現実則した意見があった。

夜は第三回目の聖書講義を桑原牧師担当聖霊を持ち続けることにつき、体験を通して語られ、次で「海老沢の時」はヨハネ福音書五章により主イエスの医士の力を信じる事が説かれ、霊肉の病を医されたい希望者を招いた所、殆んど全員が進み出て一人一人特別の祈りを受け霊動の高まりを覚えた。

第三日(四日)早朝の静聴は前日に続き海老沢牧師によりマタイ伝七・八章を中心にして同恵みの分ち合いをした。朝食後の聖書講義(第四回)は河野修牧師により、多くの例話をあげてキリストの道である福音につき語られた。最後の充滿と献身の時も海老沢牧師によってもたれ、「アシュラムの真義と教会への献身」につきマタイ伝十六章及び使徒行伝のあちこちを引用して実に明確な助言がなされ、イエスを主と仰ぎコイノニーヤを本質とした教会生活を目指す決断を迫られ、全員が、主に仕える決意を新たに表明した。会期中、クリスチャン・アシュラムの歌をくり返し唱和していいよ靈湖の高まるのを感じた。皆で腕を組み祈る間に聖霊が各自の内に降るのを覚え感謝に溢れた。一姉妹はこの日の決意を詩に托した。

詩「ゆだねまつる」  
熊 美代子

○ゆだねまつる 今日の日を  
今日はあなたのものなれば、  
主よ 我心 なしたまえ。

○ゆだねまつる 身も魂(たま)も  
わたしはあなたのものなれば  
主よ 我心 なしたまえ。

○ゆだねまつる まだ見ぬ聖園(くに)  
み手にすがれば 心榮し  
主よ 我心 なしたまえ。

「アシュラムは人数でなく運動でもなく選ばれた者への御言による霊の交りであることを深く学んだ」という人、「今度のアシュラムでほんとうにジョンズ博士の祈りというか正統的な信仰を判らせて貰えた」という声、「すばらしいお言により四国アシュラムをみたくして下さって深く感謝します。判っているつもりでしたが、改めてキリストの教会に召されている者としての自覚を強くさせて頂き本当に恵まれました」という便りもきている。

## クリスチャン。

### アシュラムの守り方(六)

海老沢 宣道

#### ▽アシュラムの挨拶

夜を通して連鎖祈禱が捧げられ、朝を迎えた時に、私たちはまず挨拶をするわけですが、アシュラムでは独特の方法でいたします。親指と小指とを合せ手のひらは自分の方に向け、中三本の指は立てて、リーダーの首頭で「イエスは主である」と異口同音に叫びます。これはキリスト教会の最古の信仰告白であり、この告白を自分の中に、また集まりの中に徹底することを期しています。更にこの挨拶が全世界のクリスチャンのものとなることを願います。全てのクリスチャンが共に集まり、真の交わりを持つことのできる唯一のお方はイエス・キリストにあるからです。

なおこの三本指の挨拶は朝の集会に限らず同志が顔を合せた時はいつでも交換するものです。但し夜間、沈黙の時などには声を出さず、お互い目と目を合せ心の中で「イエスは主である」と叫びましょう。「祈りの細胞」(ファミリー)や殊に最後の「充滿の時」には大声で一斉に称えましょう。

「静聴の時」を終了した時には特に今一つの挨拶をいたします。リーダーがまず片手を高く挙げて「主はよみがえられた」と称え、一同も片手を高く挙げて「主は実によみがえられた」と答えます。次に三本指の挨拶を交換するのがよ

## アシュラムの五大原則

(一) キリストへの明渡し

東京城南地区に

第一回アシュラム開かる

目黒の碑文谷教会にて

数千万円をかけて昨春新築成った目黒の碑文谷教会(大石嗣郎牧師)を会場にして同志の長い間の祈りにより東京城南地区に初めてのアシュラムが去る十一月二十三日の祭日に開かれた。数回の準備

祈禱会により日程分担その他一切が整えられて当日朝九時には多くの老若男女が各教会から参集、早速聖堂に座して静かに祈りつつ開会を待つ。大石理事の開会の挨拶と祈り、オリエンテーションに続き、「開心の時」が海老沢理事長の司会奨励で初まる。ルカ伝二四章により主の御臨在を信じ一同の明渡しと求めの告白を促されると次々にたえまなく、訴え、祈りの形でニードが述べられそれら全てがすでに主に答えられたことを信じる。次に「祈りの分団」に分れ、更に各自のニードのために隣席の者から執成しの祈りが熱心に捧げられた。

中食は階下の保育室で、小柴資子姉の司会で楽しいファミリーアワーとして守る。午後一時「静聴の時」は淵江淳一牧師の司会で「コリント第一の十二、十三章」を共に黙想し、一同与えられた御言と啓示の恵みを分か合った。「さんびの時」は海老沢牧師の指導で「日本アシュラムの歌」と讃美歌の合唱をする。続いて、「バイブルリーディング」には淵江牧師によるメッセージを伺う。お茶の時

のあと、最後の「充滿の時」は横山義孝牧師の司会で、一同が今日一日の恵みを感謝し新しい決心を述べ、アシュラムによってのみ与えられる賜物を各自の胸に抱いて家庭に教会にと持ち帰って行ったいろいろなアシュラムがあり誤解や偏見を持っていった人も全て氷解したと喜んで

この日参加者は深沢三七名、碑文谷一五名、その他六教会から各一名、台湾から一名で合計五九名の多数、席上献金から連盟の働きのためにも捧げることができ、準備委員一同感謝している。

二つの教会で ミニ・アシュラム

(一) 江古田教会

去る十一月十四日(日)東京江古田教会は新会堂十周年記念として伝道委員会主催の下に第二回秋の一日退修会を山根可弐理事を迎えて守った。準備祈禱会のうち礼拝説教は同牧師により「アシュラム生活」と題して大要第一面記載のお話を伺い、中食は三分団に別れて交わりを深め、静聴の時、祈りの分団、充滿の時(海老沢)をもって一同信仰を新たにされ感謝の一日を送った。当日の参加者は四〇名であった。

(二) 九段教会

次週十一月二日(日)礼拝説教「共に祈り」という題で都田豊三郎牧師の

力強いメッセージを聞き、引続いて秋季特別集会としてミニ・アシュラムを守った。中食後「開心の時」は植村俊雄師が指導、十数年前札幌アシュラムで受けた教の体験を語られた。次で「静聴の時」は都田牧師司会、密室の祈りと共に共同の祈りの大切さを奨励された。のちコリント第二書十二章につき静聴し、数名の証しがあった。「祈りの細胞」では数名

づつ四組に分れ、隣人の執成しをした。ティータイムの後、「充滿の時」を植村師担当、夫人が大手術を受けた時の苦痛を御言に支えられて乗り越えた体験の証しをされた。頌栄、祝福を以て終了したが参加された高柳伊三郎氏から、祈の細胞は大変よかったとの御感想を頂いた。日頃稀薄になり勝ちな靈的交わりの密度を高めることができ心より感謝している。

(注)日本アシュラム連盟は東京の城東地区にもアシュラムの核と交わりとが起ることを祈っているが、九段教会が以前に道南アシュラムの委員として奉仕された植村俊雄牧師を迎えてアシュラムを開かれたことを喜ぶと共に、同地域の他教会にも呼びかけてこの靈交がより広められるよう切に祈る。

九州アシュラム報告

去九月十三〜十五日に福岡市西南山の家で開く。数日前から台風十七号が接近当日の朝遂に西日本一帯を襲った。私達は予定通り実行するために会場に赴いた

- (三) 連盟の啓蒙と充滿
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

いと思います。

ロシヤのある教会で礼拝をしている所へ、共産主義者が入ってきて、「お前たちの押んでいるイエスは十字架にはりつけないで死んでしまったのだ。そんな死人を拜むようなバカなことやめよ」と大声でどなりました。会衆は恐れをなして誰一人声を出さず者がありませんでした。所が一人の少女が、「でもイエス様はよみがえられたのよ」と叫びました。その時、全会衆は「そうだ、主は実によみがえられた」と叫び出しました。その勢いに圧倒されて、先の共産主義者は退散してしまつたということです。

アシュラムの同志よ。確信をもってこの挨拶を普及徹底しようではありませんか。

▽アシュラムの歌

讃美歌や聖歌の中にも、アシュラムの精神をうたっているものが多くありますが、それらと共に直接アシュラムの心を歌としたものを唱えたいものです。

本紙十三号には小柴資子姉の作時、第十七号には沢白夢氏の作を紹介しました。更に有志の傑作を発表して頂きたいものです。またジョーンズ博士が教えられた「食前の歌」や「労作の歌」などもあります。これらを集会中や食事の前後に一同が声を合せることは楽しいことです。

アシュラムは堅苦しいものでなく、楽しい交わりであることを「さんびの時」をもって味わいたいものです。

が、途中水害で道路はまともに通れず迂回しながら車を走らせた。果せるかな参加申込者の取消し、講師も来られず、委員だけで集会を進める外なかった。

初め十数名であったが終りには三十名になったものの講師なしの寂しさをひしひしと味わった。然しこの事で本当のアシラムを経験させられ、「全ての事相働いて益となった」。皆様のお祈り多謝。(九州地区委員長 山本繁夫)

関西アシラム報告

第十一回アシラムは主題「目を覚ましかつ折れ」の下に去十一月二二―二三日の二日間、大阪淀川善隣館で開いた。参加者十三教会より三八名。主なプログラムと担当者は次の通り。

開会礼拝(後宮) 開心の時(中路) ファミリー(三グループ) 夜の祈り。二日目朝の祈り(金) 黙想の時(西条) 分ち合い(平方) 聖書講義(土山) ファミリー、充滿の時(辻中) 閉会礼拝(杉田)。尚第一日午後七時から翌日午前十一時まで連鎖祈禱が続けられた。献金七万円あり、最後に一同輪になり手をつなぎ祈りを捧げ、三本指で「イエスは主なり」の挨拶をして散会。全体として恵まれたがアシラムの原点を目指して次回を迎えたいと思う。(実行委員長 清水 潔)

加盟アシラム委員表

現在当連盟に加盟して各地区のため協力奉仕されている委員の方々を覚えて、

日々互に折り合うことにしよう。

○道南アシラム委員

(長) 白川鄭二(書記) 佐々木雄次、日野悦子、坂野久子、高岡敦子(会計) 渡部真塩、増井芳雄、工藤フミ、杉野コノ、斎藤隆、斎藤せつ、北川勝弘。(12名)

○東北アシラム委員

(長) 村上東、大住三郎、田岡伴治、高橋トキ、遠藤栄、吉池みつ、高橋力、高橋千代、小笠原栄蔵、黒沼栄一、大去清子、滝節三。(12名)

○関東アシラム委員

(長) 横山義孝(書記) 小川忠夫(会計) 井本富三郎(編集) 淵江淳一、海老沢宜道、岡田実、大久保進、河合光治、山根可式、清丸茂、荳沼孝文、帆足誠、中村武、菊池ゆり、武井啓治、有島歳弘、松田浄(顧問) 高瀬恒徳。(18名)

○中部アシラム委員

(長) 中村サムエル(書記) 吉田耕三、(会計) 松原向、尾城秀雄、戸沢路江、日江井のぶ、清丸信昭、山崎久衛門、望月愛彦、原田達夫、武内美代子。(11名)

○関西アシラム委員

(長) 中路嶋雄、後宮俊夫、辻中昭一、清水潔、中島彰、土山牧羔、金元治、西条初栄、林勝義、滝井勘四郎、平方美代子、桑山梅子、渡部清敏。(13名)

○中国アシラム委員

(長) 谷本清、山白令一、永見以久三、河井清二、植竹利侑、長島伊豆男、池田定男、野村功。(8名)

○四国アシラム委員

(長) 宇都宮充(書記) 河野修(会計)

中山真良、桑原重夫、戸田義雄、能美枝花田佐奈枝、黒田四郎、唐渡弘、久保正信、伊藤栄一、岡村松雄。(12名)

○九州アシラム委員

(長) 山本繁夫、末永利、平野七作、野口直樹、古川良男、林田金弥、水田政義、岡部恵次、宮永静男、川野直人。(10名)

○東京城北アシラム委員

▽海老沢宜道、山根可式、岡田実、大久保進、有島歳弘、小川忠夫。(6名)

○東京城西アシラム委員

▽淵江淳一、池本金三郎、帆足誠、根岸文雄。(5名)

○東京城南アシラム委員

▽大石嗣郎、小柴資子、保田みゆき、的場正芳。(4名) 総数 一一一名。

◆予告◆

東京城北アシラム(第七回) 七七年二月十一日(金) 江古田教会 協力教会・池ノ上、新宿西、中野バテレスト、天門、江古田の五教会 助言者・山根可式、岡田実、大久保進、海老沢宜道の講師 申込先・一月末日迄に江古田教会

◆個人消息

中路嶋雄兄(副理事長、関西委員長) 関西アシラム終了と同時にシンガポールでのアジア宗教者平和会議に出席された。

清水潔兄(京都復興教会) 後宮兄の後任として関西アシラムの実行委員長になられた。

総務の窓

(総務 大石嗣郎)

第五回全国理事会(一九七六年三月八日) 以後の今期前半における目覚ましいアシラム運動が全国各地において展開されておりますことは全く驚異です。繰出された人数と同時に連盟の活動を支える自発的な献金が続々と事務局に届けられております。

その一端を北アメリカに伝えたところ米国アシラム連盟総主事P・ワグナー兄より「日本に何かが起っているのではないか」という「驚き」の書簡を寄せられました。

更に今期後半に向けて折りの貯えもってよき働きがなされるよう折ります。

ジョーンズ博士記念事業(14回)

▼三千元 鈴木加世子(東北)

(累計) 金 二、四〇一、八〇〇円

◆連盟賛助の祈り(十一月十二日)

▼五万円(一件) 関西地区委員会

▼二万円(三件) 四国地区、九州地区、東京城南地区委員会

▼一万円(一件) 東北地区委員会

▼二千元(二件) 白石万亀子(城北)

▼一千元(二件) 鈴木加世子(東北)

小計(七件) 金 二二三、〇〇〇円

(累計) 金 二八七、五〇〇円

▲訂正▼前号報告中▼三万円、池上教会は事務の誤りにつき取消します。

参加者が何度でも読むべきもの「アシラムとは何か」(1977)

東京都目黒区中央町1-21-10 碑文谷教会気付